教会創立１０４周年

週　報

2026 年 10 月 25 日　5417 週

【 今年度のテーマ・聖句 】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。
なんという恵み、なんという喜び。」
（詩編１３３編１節）

巻頭言　牧師　加藤英治

私に影響を与えてくれた本㊼
高橋優子『ポップカルチャーを哲学する　福音の文脈化に向けて』（新教出版社、２０１７年）

高橋さんは、大学でキリスト教学などを教えておられるとのことです。日々若者に接しておられる中で、「なぜ教会に人々、特に若者が行かないのか」という問いを持ち、結果「福音の文脈化」が必要であるとの結論に至りました。福音を、その地の人々が接している文化や思考方法に合わせて語ろうとする試みです。その対象として、高橋さんは若者が日々に見聞きしているまんがやアニメなどのポップカルチャーを、聖書と福音の視点から読み解こうとしたのが、この本です。ここには、私の世代がかろうじて知っている『風の谷のナウシカ』『新世紀エヴァンゲリオン』なども取り上げられています。

今日はその読み解きの中で、特に宗教的主題を扱っている『聖(セイント)☆おにいさん』をご紹介します。「本作品の主人公はイエスとブッダだ。――イエスはちょっと情けない感じのお兄さんで、ブッダは主婦を思わせる風格を持つお兄さんだ。この二人がヴァカンスで現代の日本に『降臨』し、３０歳くらいの若者として東京・立川でルームシェア生活をするという設定になっている。」この設定については、「世俗化が進んだ日本で宗教的なるものが薄く広くポップカルチャーなどに出現する『宗教性の拡散』の一例と考えられる。そこには現代日本人の宗教に対するイメージが非常にクリアに現れている。」

それは、「厳密な意味での宗教多元主義ではない。宗教多元主義においては、『山に登る道はいろいろでも頂上は同じ』はずだが、この作品においては『山に登る道もいろいろ、頂上も似ているけれどいろいろ』なのだ」。作中にそれこそいろいろな東西の神々が登場しますが、「ただただ並存している。日本人の心の中には、これらの要素がとくにぶつかりもせず存在しうるらしい」。

「全体として現代日本人の宗教観は、絶対的相対主義として把握できる。思想のすべては同じ価値で並存している。――『聖(セイント)☆おにいさん』から透けて見えるのは、現代日本では『誰も何も信じていない』ということと、同時に『誰もがすべてを信じたがっている』ということだ。失われた(と考えられている)確固たる何かへの無意識の憧憬がこの作品を成立させていると言えよう。」ただ最後に言わなければならないのは、これらはすべてもう十数年前の作品だということです。今は、「今読み、見られているもの」を探り求める必要があるでしょう。

日本バプテスト　シオン山教会

牧師 ： 加藤英治
〒803-0846　北九州市小倉北区下到津２－１

TEL:093-561-0772　Fax ： 093-561-0760
E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp
HP-address: https://bapzion.com

◆ 主日礼拝　　午前 10 時 30 分

司会　林田佳代子執事
奏楽　加藤美代子姉

前　　奏
招　　詞　コロサイ３：１６～１７
頌　　栄　６７２(ものみなたたえよ(B))
主の祈り　(新生讃美歌の扉を参照)」
交　　読　５（創造者への賛美）
讃　　美　１３５(愛するイエスよ)
聖　　書　箴言２５：９～２２
（新共同訳旧 1024ｐ　口語訳旧 911ｐ）
祈　　祷
子ども讃美歌　１２９(どんどこ　どんどこ)
子どもメッセージ　**加藤英治牧師**
讃　　美　３８９
（昔　主イエスの播きたまいし）　聖歌隊
宣　　教　**「 この方の前で語り、共に生きる 」**
加藤英治牧師
祈　　祷
讃　　美　３８８（主よわが心に）
献　　金　祈り：下川礼子姉
（女性会Ｂ班）
頌　　栄　６７４(父　み子　聖霊の)
祝　　祷　加藤英治牧師
後　　奏
報　　告

◎今月の聖句
「主を畏れることは知恵の初め」
（箴言１章７節ａ）

本日の集会
教会学校

幼小科
１０：３０～１１：４０
中高科、青年・成人科
９：３０～１０：１５

主日礼拝の当番
受付：二木榮子　持田文重
お花：二木榮子

聖歌隊練習・会堂清掃　12：00～12：15
定例役員会　12：20～13：10

◎今週の集会(１０月２５日～１０月３１日)

＜聖書＞詩編１：１～６

２８日(水)　祈祷会Ⅰ　１０：３０
祈祷会Ⅱ　１９：３０
（司会・奨励　加藤英治牧師）

今週の聖書日課と祈り

２５日(日)	箴言２５：９～２３	畑間節子
２６日(月)	ヨハネ １：１４	林田佳代子
２７日(火)	エフェソ ２：１４～１８	林田義勝
２８日(水)	コロサイ ４：５～６	廣津陽子
２９日(木)	マタイ ７：２４～２７	藤岡幹隆
３０日(金)	ヨハネ １５：５	藤田　恒
３１日(土)	詩編 １３９：１～１０	二木榮子